



エスコープ大阪機関紙

表紙

・目指すは、自然エネルギーの地産地消

P3

・活動報告 遺伝子組み換え反対運動推進月間(俵豆伍心 店内交流会&試食会/組合員拡大企画@ふらっとシェアルーム/春のみそ作り
・組合員紹介 W.Co紹介

P2

・漠然とした不安をこえて、本当の意味での明るい電きを選択しよう! 食べものと同じように、エネルギーも

P4

・エスコープ大阪第6次中期計画
・エッコロ給付状況報告
・子育てひろば案内
・理事会報告・おたよりネット・編集後記

目指すは、自然エネルギーの地産地消

「生活クラブエナジー」は、2014年10月に生活クラブ連合会と会員生協、一部の消費材生産者が共同出資して設立した会社で、人とのつながりを大切にしながら事業をすすめています。2016年4月の電力小売全面自由化により、私たち組合員は生活クラブエナジーを介して「生活クラブでんき」の共同購入を実現しました。今回は電力事業と組合員活動の両方を知る半澤さんに、これからの生活クラブのエネルギーに関する取り組みについて展望を伺いました。

(聞き手:環境担当常務理事 泉 容子)



(株)生活クラブエナジー代表取締役
生活クラブ神奈川専務理事

半澤 彰浩さん

始まりは チエルノブイリ原発事故

泉 半澤さんが生活クラブエナジーに関わるようになったいきさつを教えてください。

半澤 旧ソ連でチエルノブイリ原子力発電所(以下、原発)事故が起こった1986年4月26日、私は生活クラブ連合会に出向中で、開発部で加工食品の共同仕入れを担当していました。チエルノブイリから8キロも離れているにも関わらず、三重県の「(有)生活クラブわたらい茶生産グループ」(現「(株)新生活わたらい茶」)の消費材から生活クラブの自主基準を上回る放射性セシウムが検出されました。ちょうど新茶の季節で、無農薬で育てた茶葉に放射能を含んだ雨が降り注いだのです。国の基準の10分の1(37ベクレル)としていた自主基準を上回ったため、その年の5月から10月に収穫したすべてのお茶を供給中止としました。食の安心・安全と原発はけっして相いれないと痛感しました。

生活クラブ神奈川で原発のない社会をつくろうと運動を展開するなかで、「NPO法人 北海道グリーンファンド」の市民風車をモデルにした「生活クラブ風車 夢風」建設に関わりました。その後、東京電力福島第一原発の事故が起こり、国の固定価格買取制度(FIT)の導入と電力システム

改革が早まったことをきっかけに生活クラブエナジーを設立し、組合員による「生活クラブでんき」の共同購入が始まりました。それまでの反対運動だけではなく、原発や化石燃料に替わる自然エネルギーを選択し広げるという直接的な行動に組合員が参加できるようになったのです。

脱原発に切り替えないと エネルギー転換は 実現できない

泉 電力システムの制度改革のなかで一番の成果は発送電の分離だと思います。送電会社の独立性が担保されれば、もともと自然エネルギー発電事業者や小売事業者が増えるのではないのでしょうか。また、長期的なコストが高い原発が淘汰される期待もあります。発電事業、小売事業の自由化に続いて送電事業の自由化が始まりますが、どのようにおこなわれるのでしょうか。

半澤 新電力は自前の送電線を保有しておらず、旧電力の送電線を通じて電力を供給しています。送電線使用にあたり旧電力と新電力の公平を保つために発電事業と送電事業の分離が2020年におこなわれます。しかし、すでに東京電力が発電事業と送電事業、小売事業を分離していますが、株式を分けて分社化しただけで所有分離とはなっていない。他の旧電力もこれにならうことが予想されます。制度改革が進んだように見えても、これでは公平性は担保できません。現在、送電線への接続は、ほとんど稼働していなくても原発を優先し、空き容量があるにも関わらず、新しい自然エネルギーの

発電所が送電線に接続できないという問題が起こっています。同じことが2020年以降も起こることが予想されます。

原発推進の政策は今も変わっておらず、新たに非化石価値取引市場なるものができるそうです。証書で環境価値の取引をするもので、温室効果ガスの抑制を目的としています。非化石燃料には原発も含まれ自然エネルギーと同等の評価を受けることになりそうです。また、2020年には福島第一原発事故の賠償費用や廃炉費用が送電網使用料金(託送料金)に乗せとなることは周知のとおりですが、原発由来の電力を扱わない新電力会社も同じように負担することになります。さらに、現在施行されている、原発を原則40年で廃炉にする規制を60年に延ばすという話も出ています。国の政策を脱原発に切り替えない限り、本当のエネルギー転換は実現できません。

地域が自立しながら つながる社会へ

泉 「生活クラブでんき」の生産者にはエネルギー自給をめざす市民発電所が増えてきていますね。

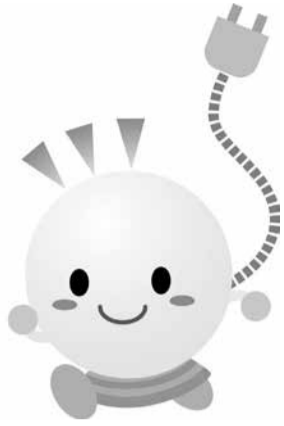
半澤 自然エネルギー拡大のためには自前の発電所を開発していくことも大切ですが、地域の人や生産者が開発した自然エネルギー発電所とつながっていきたくないと考えています。自然エネルギーによる発電は、都市部では適した場所や環境がなくつくり出すのが難しい現実があります。適地に設備をつくり、その地域に貢献するしくみを作っています。「生活クラブ風車

夢風」のある秋田県にかほ市とは、組合員との交流活動のほか、にかほ市の特産品を使った「タラメ」などの消費材の共同開発、消費材の原料となる加工用トマトや大豆の生産提携もすすめています。また、市民電力会社の「会津電力(株) (福島県会津市)」とは、地元のお酒の共同購入や耕作放棄地を利用したぶどう栽培も始まっています。電力事業を介して地域との関係性をつくり、そこから提携や運動が広がっています。映画「おだやかな革命」を通して知り合った岐阜県石徹白(いとしろ)地区や岡山県西栗倉村(にしあわくらそん)の電源も生活クラブエナジーで購入できれば良いと思います。

2019年度に計画している生活クラブエナジーのシステム変更に伴い、協力会社に委託していた需給調整を一括受託して自社でおこなうことができるようになれば、地域ごとに「生活クラブでんき」の小売電力会社を立ち上げることも展望できます。本来、風や太陽光、バイオマスのような自然エネルギー資源は地域のもの。地域ごとに発電所と受給者をつなぐことでエネルギーの地産地消が実現できます。目標はそれぞれの地域が自立しながらつながり合う分散型の社会です。

泉 生活クラブがすすめる「FEC+W自給ネットワーク」の「E(エネルギー)」を実現したカタチですね。「生活クラブでんき」の共同購入に参加することは、脱原発やCO₂削減による環境保全や食の安心・安全だけでなく、地域の活性化にもつながる、「持続可能な社会づくりが実現できるでんき」だとあらためて実感しました。

漠然とした不安をこえて、 本当の意味での明るいでんきを選択しよう！ 食べものと同じように、エネルギーも



エスコープ大阪では、脱原発・CO₂排出削減・エネルギーの自給をめざして、自然エネルギーの利用を推進しています。私たちは具体策として「(株)生活クラブエナジー」を設立し、「生活クラブでんき」の共同購入を生活クラブグループ全体ですすめて4年目となります。現在、連合会全体で約15,000世帯に供給しており、昨年度より黒字化できましたが、目的・目標を達成するためにはまだまだ仲間が必要です。2019年度は生活クラブ全体で4,661件、エスコープ大阪では231件の契約を目標にして取り組みます。キャンペーンに合わせて、6月を「生活クラブでんき」推進月間として映画「おだやかな革命」の上映会や地域企画をおこないます。

東京電力福島第一原発事故を 経験した私たち

1986年のチェルノブイリ(現・ウクライナ)原発事故以来、日本でも各地で原発運動は起こっています。また、原発から出る放射能廃棄物を再処理してプルトニウムを取り出し増殖させる「核燃料サイクル」は人類には制御不能であるとして、青森県六ヶ所村の再処理工場稼働についてもエスコープ大阪でも反対してまいりました。2011年3月11日に起こった東京電力福島第一原子力発電所の事故は、遠い他国の問題でも将来起こるかもしれない不安でもなく、今身近に起こっている現実として私たちに突き付けられました。生活クラブ連合会やエスコープ大阪では「脱原発」を方針にかかげ、省エネをすすめることで必要な電気を確保したり、自然エネルギーによる発電を推進していくことを選択しました。福島第一原発事故は世界各国にも影響を与え、原発からの撤退を表明する国も増えています。

世界は「脱炭素」時代へ！

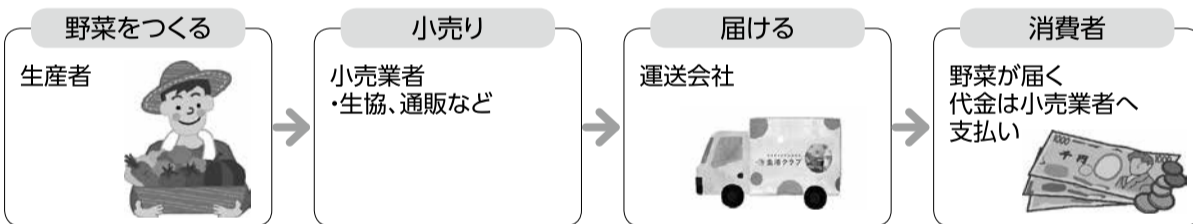
国連の「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」によると、この100年間で世界の平均気温が1℃上昇したことで異常気象が増えています。国内でも異常気象による農業の不安定化や災害が年々増えてきています。このまま何も対策しなければ100年後には平均気温が4℃も上昇することが予測されていて、人類は破壊してしまいます。「パリ協定」で採択した、異常気象の原因となる温室効果ガスの排出を2100年までに実質ゼロにするための手段として、EUやアメリカなど先進国では自然エネルギーによる発電を

増やしていくことを決めています。
*「REN21」が発表した「自然エネルギー世界白書2018版」によると、世界の風力発電の設備容量は2011年に比べ2倍以上増え、太陽光発電の設備容量は5倍以上に増えています。施設の増加にともない技術も進歩し、コストダウンにより原発はもとより火力発電と同等、またはそれ以下のコストになっている事例もあり、化石燃料からの脱却の糸口となっています。
※REN21とは、「21世紀のための自然エネルギー政策ネットワーク」の略称で、自然エネルギー促進を図る世界規模の政策ネットワークのこと。

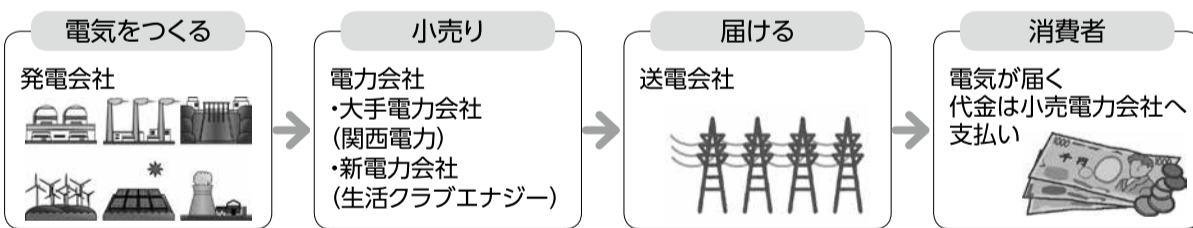
電気の品質は今までと変わりません

「生活クラブでんき」に切り替えると、漠然とした不安を抱く方もおられます。小売電力会社が替わっても、発電会社でつくられた電気が送電会社(関西電力(株))の送電線を通して家庭に届けられることは変わりません。電気の品質(停電のリスクなど)は同じです。

■小売業者が扱う野菜は運送会社(配達職員)が各家庭に届ける



■小売電力会社が扱う電気は送電会社が各家庭に届ける



生活クラブエナジーの 電気を使うことは 消費材の利用と同じ！

私たちは生産履歴が明確で安心して食べられる消費材を生産者と共につくり、それを食べ続けることで食の自給力を高めてきました。同様に「生活クラブでんき」によってエネルギーの自給力を高めようとしています。どこで誰がどんな想いでつくったのかわかる自然エネルギー由来の電気を私たち自身が使い、その利益が

生産者と発電所の建設地に暮らす人々に還元されることで持続可能な社会を構築します。食品の裏側があるように、電気にも裏側があります。「安い」と思ってもセット割りなどいろいろな縛りやいつ使うかわからないサービス特典などが付随していたりします。食品同様、価格だけで選ぶのではなく、その背景を考える必要があります。また、自然エネルギー由来の電力と言えども建設地の自然を破壊してつくり、売電費用も土地の人々ではなく遠くの投資家の利益となるのでは論外です。

6月は「生活クラブでんき」推進月間

「生活クラブでんき」キャンペーン期間に162件の新規契約を目指します！

6月に各地域で開催する生活クラブでんき企画一覧 ※詳しくは地域委員会ニュースをご覧ください。

地域名	ワークショップ	日程	会場
泉北NT	ソーラーランタン作り	6/28(金)	エスコープ大阪・本部
泉州	ワットチェッカーで消費電力測定	6/18(火)	泉佐野市生涯学習センター
	蜜蝋キャンドル作り	6/23(日)	岸和田市立浪切ホール
河内長野・大阪狭山	小豆のホットパック作り	6/19(水)	狭山市立公民館
南河内	蜜蝋キャンドル作り	6/19(水)	きらめきファクトリー
大阪市南・中河内	ソーラーランタン作り	6/17(月)	若江岩田駅前リージョンセンター
	ソーラーランタン作り	6/22(土)	東成区民センター
堺市街地	ソーラーランタン作り	6/29(土)	エスコープ大阪・本部
店舗	ソーラーランタン作り	6/29(土)	エスコープ大阪・本部

原発や化石燃料に頼らないエネルギーの自給をめざす取り組みにあなたも参加しましょう！

店舗地域
**遺伝子組み換え反対
 運動推進月間**
 (株)豆伍心(まめごころ)
店内交流会&試食会
 3月5日(火)
 店舗「城山台Do」
 (堺市南区城山台)

店舗地域理事 谷口 景子

3月の遺伝子組み換え(以下、GM)反対運動推進月間のキャンペーン企画として、「(株)豆伍心」の樽谷さんを招いて、店内で交流会を開催しました。遺伝子組み換えしていない(NON-GM)国産大豆で作った濃い豆乳と特製のにがりでおぼろ豆腐を作ってもらい試食をしました。豆腐のおいしさが本当によく分かり好評でした。組合員からも活発に質問などが出て、大豆の使用量が多いだけでなく、原料大豆が「竜おうみ米」の産地(滋賀県竜王町)で作られ「主産地形成」の一部を担っていることを紹介しました。消泡剤を使わず、「うすあげ」の揚げ油も消費材のなたね油を使って手揚げしていることなど、「豆伍心のこだわりがすごい」と声が上がりました。

当日は「木綿豆腐」を22丁と、それ以外に「2連木綿豆腐」、「絹ごし豆腐」、「豆乳」なども仕入れましたが、2時間

**豆伍心の豆腐を食べて
 遺伝子組み換え食品に
 反対しよう!**



ですべて完売してしまい、もう少し多く仕入れたら良かったと思われました。

3月4日から8日までのキャンペーン期間中、地域委員会でも2回試食会をしました。木綿豆腐をパックのまま冷凍し、解凍後に揚げて作る「凍み豆腐」のから揚げは皆さんがそのおいしさに驚き、新しい料理提案になりました。GM作物の問題点などは、チラシやポップにして店内に掲示したので、試食を提供しながらお話ができました。

事前に地域ニュースでキャンペーンについて取り上げたり、「おしゃべりカフェ」や「春みそ作り」などの企画の際にもGM反対運動やゲノム編集技術といった新たな遺伝子操作について知ってもらえるように声かけをしてきました。これらの活動を通じ、多くの組合員にGM反対運動をアピールできました。

堺市街地地域
春のみそ作り
 3月9日(土)
 堺市立西文化会館
 ウエスティ
 (堺市西区)

堺市街地地域委員 北野 幸子

**みそ作りを通して
 地域のふれあいを大切に**

毎年、春と秋におこなっている「梅谷味噌醤油(株)」の材料を使ったみそ作り。今回の春のみそ作りには、初めての参加の方や毎回来られているベテランの方、数年ぶりに参加した方など、16組の組合員が参加しました。ミンサーは台数に限りがあるので譲り合って使い、作り方や保存方法で

わからないことなどをベテランさんに聞いたりして



実際にどれくらいかかっているのか子どもたちも驚いて「おいしい」というお母さんの思いも聞くことができました。

て組合員同士で交流しました。各自持参した保存容器も年代物の素敵なためやプラスチック製、ホーロー製などさまざま。国産の容器はどこでも入手できるのか、今回仕込んだみその食べ頃はいつなのかなど話が尽きない様子でした。また、子どもが一生懸命ミンサーで大豆をつぶしたり、大豆と麴を混ぜる姿も見られ、「食べ物が実

みそ作りの後には、昨年仕込んだみそと「豆伍心(株)」の「絹ごし豆腐」を使ったみそ汁と、1月に生産者交流会を実施した「旬大商店」の「生芋板こんにゃく」を使ったみそ田楽を試食しました。みそはもちろんのこと、みそ汁の具材やこんにゃくも好評で、エスコープ大阪の消費材のおいしさを改めて実感してもらうことができました。

南河内地域
**組合員拡大企画
 @ふらっとシェア
 ルーム**
 1月23日(水)
 2月27日(水)
 3月27日(水)
 ふらっとシェアルーム
 (富田林市寺池台)

南河内地域委員 川村 明美

親子企画で2名が加入!



もにも食に興味を持ってもらえるように、親子で一緒に簡単に作れるパン作りをおこないました。

子育て支援事業などをおこなっている「NPO法人ふらっとスペース金剛」(富田林市)を利用して、お子さんとお母さんに、エスコープ大阪を紹介する組合員拡大企画を「ふらっとシェアルーム」で開催しました。

子どもたちの成長を支えるお母さんに、「食べ物だけでなく運動面からもエスコープ大阪の良さをしっかりと伝えたい」、「持続可能な未来に向けて考える仲間を増やそう!」という想いから、親子で参加できる企画を3回実施。

第1回は「親子deシェアランチ」と題して、エスコープ大阪の安心・安全な食材を使い、調理の途中段階で乳幼児向けに取り分ける「取り分け食」を紹介し、実際に参加者と一緒に調理し、試食しました。

第2回のテーマは「親子で楽しむ簡単パン作り」。市販のパンに含まれる添加物や油脂についての話をし、子ど

第3回は「安心・安全 ソーセージの食べ比べ」。実際にエスコープ大阪の無添加のソーセージ・ハム類を試食してもらい、市販品に使われていることが多い発色剤などの添加物が及ぼす影響について説明しました。

各回とも学習会のように話を交えながらエスコープ大阪の良さをアピールしました。中には続けて参加される方もいて、3回の企画でのべ9組の親子が参加し、企画終了後には2名がエスコープ大阪に加入されました。

5月には、好評だった「親子で楽しむ簡単パン作り」を開催。エスコープ大阪を知るだけでなく、小さなお子さんを持つお母さん同士でつながりを深めることもできます。ぜひ、組合員の方も親子でお友だちと一緒に参加してください。

※ふらっとスペース金剛が運営。団地の一室を会員に貸し出し、サークル活動やサロン、講座の開催などに利用できる。

また、手作りみそは作り手によつて個性は出ますが、実際に仕込んだみそが、食べるときにどんな色や味になっているのかも感じてもらうことができました。

みそ作りの企画では、早朝に蒸した大豆が温かいまま会場に届くので、家庭でやる手間もなく、とても簡単に作ることができます。そして、なんといつでも皆でワイワイ話しながら作るとおいしいみそができるような気がします。こうした昔ながらのみそ作りをこれからも企画して、次世代につなげ、活動に参加する組合員を増やしていきたいです。

紹介します!!
 うちの地域の
 組合員さんです



トマトケチャップ

**賢い主婦を
 目指します!**

山崎 志織さん [南河内地域]

4年前に病気をしてから、食事の大切さを改めて考えるようになり、素材・製法にこだわった調味料や安心・安全な食材を取り扱っているエスコープ大阪と出会ってうれしく思っているとのこと。1月には地場野菜を使った料理企画やエスコープチャンネルにも参加され、今年度はエスコープメンバーに登録されました。

2018年12月に開催した「年末ナチュラル大掃除企画」に参加されたのがきっかけで山崎さんと出会いました。

生活クラブが取り上げられたテレビ番組「カンパリア宮殿」(2018年3月放送)を観て感銘を受け、エスコープ大阪に加入し、安心して使える調味料や消費材がたくさんあることが気に入っているそうです。

一番のお気に入りは「トマトケチャップ」。ピザを作ったときに、このケチャップを使ったら、家族みんなが「うまつ!!」と絶賛したそうです。

「活動に参加して食べ物のごや環境のことなど皆さんがとても熱心に問題に取り組む姿を見ると、すごく良い刺激になります。まずは話を聞き、知識を増やし、学び、考え、少しでも賢い主婦になりたい」と話されました。私たちの新しい素敵な仲間が南河内地域に加わりました。

聞き手 南河内地域理事 梶川 愛

※現在「トマトケチャップ」は原料の国産加工用トマトが不足し、取り組みをお休みしています。

**GO! GO! 第7回
 ワーカーズ・コレクティブ
 配達W.Co. あすか**



牛乳利用推進のための学習会の様子

1986年に、南河内地域のさつき野ストックポイントで、班で受け取りが難しい人たちが当時の泉北生協の仲間を迎え入れたというところからスタートした個人配達。その嘱託職員13名が発起人となり、「協同して働くこと」をすすめていくことと、1994年10月にW.Co.あすかが設立されました。当初は約15名のスタッフで約800軒を配達し、ピーク時には約30名で約1300軒の配達をしていました。

現在メンバーは17名。W.Co.として自分たちで経営し、協同して働くことを大切に、些細なことも話し合っ

て決めてきました。みんなが意見を出せるように小さいミーティングを経てから全体ミーティングをす

るなど試行錯誤して、役割に関わらず一人ひとりが同じワーカーであることを意識してきたそうです。勉強会などには積極的に参加してエスコープ大阪の取り組みを組合員に伝え、また配達のプロとしての意識を持って働いています。

配達時に組合員と話をする中で、高齢の組合員から「もっとゆくり対応してほしい。いろんなことが聞きたい」との要望が出てきました。もと

もと障がい者の方々への対応も既存コースでしていたので、話し合いを重ね、エスコープ大阪にも相談し協力を得て「さわやかコース」を作りました。「平均10軒前後と1コースあたりの軒数は少ないですが、地域に必要なことを考えるW.Co.だからできること」と、15年以上続けています。南河内地域には他にも配食や福祉のW.Co.があり、必要だと思つた組合員に紹介したり、逆に他のW.Co.から紹介があったり連携も生まれています。

※W.Co.:ワーカーズ・コレクティブの略。非営利市民事業で、地域に必要なサービスを共同出資して自主運営し、みんなが働く。地域に必要な「モノ」を自ら生み出し、地域貢献の視点をもつ。



第11回 理事会報告 <4月3日>

【2月度決算報告】

- 供給高 2億2,067万円(前年同月比107.2%)
- 組合員数 19,491名(前月比-86)
- 一人あたりの出資金 79,899円

【3月の放射能検査結果】

3月は連合消費材891検体、エスコープ大阪独自の消費材4検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①役員定数及び推薦委員の変更について
- ②軽減税率および配送なし週へのシステム構築投資について

【協議事項】

- ①役員選出の状況について
- ②5月竜おうみ米推進月間の地域委員会取り組みについて
- ③7月地場野菜推進月間の取り組みについて
- ④牛乳取り組みについて
- ⑤6月生活クラブでんき推進月間の取り組み内容の決定
- ⑥『おだやかな革命』上映会の追加経費について
- ⑦2019年参議院選挙に向けた政策提案運動の取り組みについて
- ⑧2019年度まつり(仮称)の提案
- ⑨活動費の使用原則の再確認と支出内容の明確化について
- ⑩本部食堂の使用に関するルールについて
- ⑪大阪市南・中河内地域の予算追加について



第12回 臨時理事会報告 <4月24日>

【協議事項】

- ①2019年度エスコープ大阪総代会議案書(案)について



エッコロ制度 4月度報告

加入者数 1,292名

給
付
状
況

組合員活動を支えるためのケア	0件
組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者本人の産前産後のケア	0件
長期に留守をする時のケア	0件
リフレッシュのためのケア	0件
儀式・行事に伴うケア	0件
高齢の加入者をサポートするケア	3件



エスコープ大阪の子育てひろば

日時	会場
6月19日(水)10~12時	大阪狭山市立公民館 (河内長野・大阪狭山地域)
6月18日(火)10~12時	さつき野東集会所(南河内地域)
6月13日(木)10~12時	泉佐野市 佐野公民館(泉州地域)
6月25日(火)10~12時	和泉市コミュニティセンター (泉州地域)

- *開催時間内であればいつでも、帰ってもOK
- *組合員でないお友達との参加もOK *事前申し込みは不要
- *お茶代100円(大人のみ)をいただきます

編集後記

4月末に国の「原子力規制委員会」が原子力発電所のテロ対策施設の工事が期限までに完了しなかった場合、運転中の原発も停止することと、期限の延長はおこなわないことを発表しました。5年の猶予がありながら着工すらしていない原発もあり、これまでの事故の経験を軽視していると思えません。チェルノブイリ、福島と学ぶことはたくさんあったはず。変わらぬ原発推進の方針に憤りを感じ、「生活クラブでんき」にひとすじの光を見ます。(K)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

https://s-osaka.seikatsuclub.coop/

エスコープ大阪では第6次中期計画として、いろいろなことを生み出すための基礎づくりをすすめていきます。「人が人としていきいきと生きていける持続可能な社会をつくる」ために、またその活動を広げていくためのヒト・コト・モノ・ハコをつくり出します。

今回は、中期計画の実行方針である「食への取り組みをさらに強化します」という方針についてお伝えします。



エスコープ大阪 第6次中期計画

課題の解決にむけて生産者とともに考え行動する

課題の共有

1月26日(土)に「中井製茶」(京都府和束町)の中井章洋さんが、今後のことについて相談に本部へ来られました。体力的に今まで同様の出荷が困難であること、現時点で「子息が後継とならない意向を年明けに確認した」とのことでも、とても気落ちされている様子でした。中井製茶のお茶は、エスコープ大阪と生活クラブ都市生活の2生協で取り組んでいます。エスコープ大阪は泉北生協時代から40年のおつきあいで、組合員による農薬を使用しない茶葉の実験栽培をきっかけに先代が挑戦されて今の中井製茶の消費材があります。その関係もあつての先立っての来協で、お気持ちを理解しました。

その後、「株生活クラブ関西」での調整がすすめられ、3月の関西連営委員会でも中井製茶の原料茶葉生産者を増員することを決定しました。21週(5月27日~31日)の「中井さんの煎茶(一番茶)」から、同じ町内で新たに就農して有機栽培茶葉を生産している植田修さん



と、植田さんのもとの経験と積んでいる、タイ出身のトーンチム・パトントン(通称:ジャック)さんの原料茶葉が入ります。4月8日(月)、生産者にお会いして圃場や生産現場を確認し、活動の組み立てなど今後どのようなことができるかを検討するために、常務理事会で訪問しました。

中井製茶の継承

新しい生産者のおふたりは中井さんが主催し理事長を務める「NPO法人わづか有機栽培茶業研究会」のボランティアアワーの経験があり、植田さんは茶葉の栽培に目覚め、他産地での研修・修行を経て、10年前に和束へ移住、8年前に独立しました。ジャックさんは大阪府出身の奥さんと結婚して子どもが生まれ、またことを機に日本への移住を考え、約17年前に母国タイでボランティア協会の職員をしていた時に知り合った植田さんに相談。4年前に和束に移住し、新規就農しました。



植田さんは、800年のお茶の歴史がある和束で、急須で飲むお茶の文化を大切にしている中井さんをはじめとする和束の人や想いに影響を受け、そのような生産者になりたいと思ったそうです。消費者との接点を望まれており、交流にも積極的に関心を持たれているようでした。ジャックさんも和束の人や町を知っていたことで就農につながり、土と共に生きることや自然の力を大切にしている有機農業への思いを語られていました。中井さんは1月にお会いした時よりもお元気になりましたように見受けられましたが、山中の圃場での作業は体力的に厳しくなっているのではないかと茶畑の急斜面を見て感じました。

中期計画では、食への取り組みをさらに強化するために、生産する消費者の視点を持った持続可能な生産と消費をめざしています。そのために私たちは何をするのか、まずは援農や計画的労働参加、そして新規就農者向け企画などの実施に向けて生産者と検討をすすめていきたいと考えています。

理事長 岡公美

おたよりネット

「りっふる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

195号2面「『竜おうみ米』に食べる力を結集し、私たちの食糧基地を作ろう!」を読んで

紙面モニター Aさん

日本は食料自給率が低く6割以上を輸入に頼っている現状に危機を感じます。どうしたらより良くなるのか、自分たちで何ができるのかを考えた時、国内自給ができるお米を食べ、供給先(売り先)がわからないまま生産するリスクをなくすためにこれだけ食べますと意思表示する登録利用が、確かな未来の食の基盤を作ることになると感じました。

COOLなエスコープ大阪の組合員になろう!

糸川 江里子さん(河内長野・大阪狭山地域)

195号4面の「世界の協同組合を知る」を楽しく読ませていただきました。とりわけニューヨークの生協店舗「FOOD COOP」の若い組合員が店舗で無償ワークをすることで運営に参加している姿がCOOL! かついいことだと思いました。日本でも企業の社員が、休日に地域でボランティア活動をしたリ社外活動に参加することが増えているようですが、自分が加入している生協で活動に参加することもCOOL! 「かついいこと」だと思いませんか。

キトリ

Ripple おたよりネット

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはXで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事会事務局行き
197号(2019.5.27)

(ペンネームOK)

●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

キトリ